

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	タンク車積載の三連はしご収納レール破損事故
3. 体験した事例の中心的要素	確認不足
4. 体験した事例の原因・理由	車両を動かす際の周囲の確認不足

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	---

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年4月18日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：車庫
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	激突
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	器具操作訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[31]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[25]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	三連はしご収納レールを起こしたままタンク車を車庫から出そうとした(機関員)	
経過2	当事者B	タンク車を車庫から出す際に助手席に乗車していた。	
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他 : 怪我はなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

車両を動かす際の周囲の安全確認を怠った。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

訓練時でも災害時でも車両を動かす際は必ず車両を一巡し、上部も確認することを徹底している。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

訓練等で三連はしごを使用する際は狭い車庫内で三連はしごを出すのではなく、広い場所ではしごを出す。

○指揮・情報伝達の対策について

必ず誘導員をつけて情報伝達を行う。

事故事例写真説明

①タンク車後部から見る。

はしごスライド板の変形が見られる。



②タンク車左側から見る

はしごスライド板と庁舎壁面の接触と、はしごスライド板の変形も確認できる。



③タンク車右側から見る

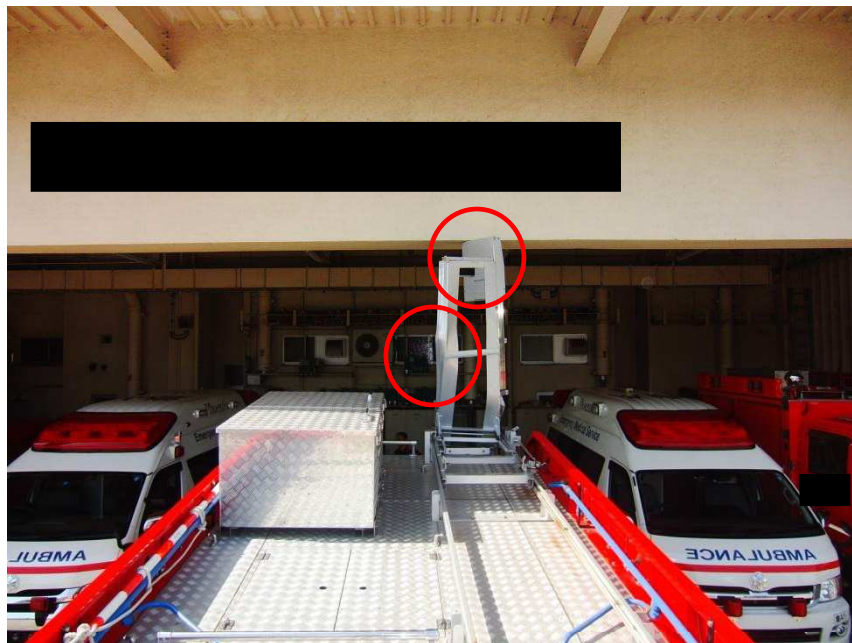
はしごスライド板と庁舎壁面の接触と、はしごスライド板の変形も確認できる。



④タンク車上部前方から後方を見る

はしごスライド板が庁舎天井壁面に接触しているのを確認できる。

はしごスライド板の変形を確認できる。

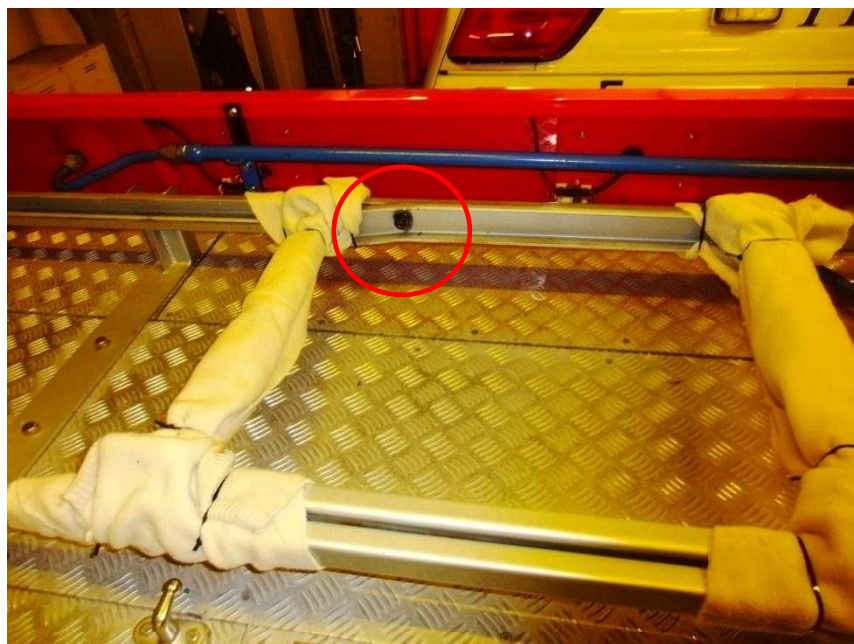


⑤庁舎天井壁面を見る

はしごスライド板が庁舎天井壁面に接触した跡が見られる。



- ⑥はしごスライド板のレールを見る。
レールが彎曲しているのが確認できる。



- ⑦はしごスライド板のレールを見る。(詳細)
彎曲しているのが確認できる。

